

令和7年度 総合的な学習の時間 全体計画 江戸川区立第六葛西小学校

校長名 中山 和義

名称: 総合的な学習の時間

学校の教育目標	『考える子』を教育目標の重点とし、基礎的・基本的な内容の確実な定着を通じて学力の向上を図る。「深く考える」「よく考える」「相手の立場に立って考える」など、「考える」についての実践を引き続き強め、人間性豊かな児童の育成に努める。
---------	---

国が示す総合的な学習の時間の目標

探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。
(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。

学校の総合的な学習の時間の目標

(1) 地域や社会の人、もの、ことに関わる探究的な学習の過程において、課題解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、地域や社会の特徴やよさに気づき、それらが人々の努力や工夫によって支えられていることに気付く。
(2) 地域の実社会・実生活・SDGs等の問題から課題を見出し、その解決に向けて仮説を立てたり、調査をして得た情報を基に比較したり、因果関係を推測したりして考える力を身に付けるとともに、考えたことを根拠を明らかにしてまとめ・表現する力を身に付ける。
(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら持続可能な社会を実現するための行動の仕方を考え、自ら社会に参画しようとする態度を育てる。
(4) ジャナジョティ小学校との姉妹校交流活動をきっかけに、国際理解教育を進め、国際社会の一員としてのものの考え方を身に付ける。

育てようとする資質や能力及び態度

知識・技能	
第3・4学年	第5・6学年
・互いに関わりながら、それぞれのよさを生かして社会が成り立っていること(相互性) ・自然環境は、様々な要因で常に変化する可能性があり、一定ではないこと(有限性)	・それぞれの地域には特徴があり、多種多様に存在していること(多様性) ・学校や町のために力を合わせ、目的の実現に向けて取り組むこと(協働性)
思考・判断・表現	
第3・4学年	第5・6学年
・問題状況の中から課題を設定するとともに、解決に必要な調査方法を明確にする ・手段を選択し、情報を収集する ・相手や目的に応じて分かりやすくまとめ、表現する	・問題状況の中から課題を見出し解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てる ・多様な方法で自分の目的や意図に即した情報を収集し、比較したり推測したりしながら整理・分析する ・他教科で培った表現力等を活用し、相手や目的に応じて分かりやすくまとめ、表現する
学びに向かう力、人間性等	
第3・4学年	第5・6学年
・身近な人と協力して探究活動を行う ・自分の考えと異なる意見や考えがあることを知ろうとする ・自分にできることを見付けようとする	・異なる意見や他者の考えを受け入れる ・他者と協働して課題を解決する ・実社会や実生活の問題の解決に、自分のこととして取り組む

内 容	学習対象	学習事項
第3学年	・江戸川区の施設や伝統文化とその継承に力を注ぐ人々 ・ネパールの特産品や施設、伝統文化について	・地域の文化や伝統の継承に力を注ぐ人々の思い ・異文化理解を深めるとともに、自国の文化の素晴らしさ
第4学年	・身近な自然環境とそこに起きている環境問題 ・ネパールの環境問題について ・姉妹校であるジャナジョティ小学校との交流	・環境問題と自分たちの生活とのかかわり ・異文化理解を深めるとともに、自国の文化の素晴らしさ
第5学年	・食をめぐる問題と新潟の農業や生産者 ・ネパールの農業について ・姉妹校であるジャナジョティ小学校との交流	・農業生産に携わる人々の思いやその工夫 ・食をめぐる問題の解決とよりよい食生活の想像を目指した取組 ・異文化理解を深めるとともに、自国の文化の素晴らしさ
第6学年	・よりよい学校づくりのために尽力してきた人々の思いや願い ・第六葛西小学校とジャナジョティ小学校との関わり ・姉妹校であるジャナジョティ小学校との交流	・学校づくりに携わる人々の思いやその工夫と発展 ・異文化理解を深めるとともに、自国の文化の素晴らしさ

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
・3年生は伝統文化、4年生は環境、5年生は食育、6年生は町づくりを主なテーマとする ・姉妹校であるネパールのジャナジョティ小学校との交流を図る	・主体的、対話的な学習活動の充実 ・児童の課題意識を連続発展させる支援 ・各教科との関連的な指導の重視	・地域とのかかわりを重視したゲストティーチャーの活用 ・学年PTAと連携した保護者の協力	・個人内評価の重視 ・指導と評価の一体化の実施 ・学期末、学年末における指導計画の評価の実施